

就職活動における戦略的自己呈示に関する研究

—半構造化インタビュー調査を用いて—

スポーツ経営組織学ゼミナール 1313017 大澤 齊也

1. 研究動機・研究目的

現在、大学生における就職活動はキャリア発達の観点からみて重要なイベントである。その活動は(1)自己分析と業界分析(2)資料請求(3)会社側からの接触(4)採用選考(5)内定という5段階のプロセスを経ると言われている(松本・木島, 2002)。その中でも企業側が、採用選考で最も重視するのは面接であり(経済同友会, 1999)、就職活動の中心が面接といっても過言ではない。採用の評価基準として重要視される上位3項目は「熱意・意欲」「性格・人格」「考え方・価値観」であると言われているが(木谷, 2003)、その内容を面接時にうまく企業側に表現できなければ評価されにくい。つまり、採用をしてももらう為に面接時の適切な自己呈示、行動が必要となってくる。先行研究では、就職活動の自己呈示の戦略目標を導出する為に就職活動の報告を基に、9カテゴリ(意欲、自尊心、自発的活動、事前準備、自己統制、率直さ、自己説明、積極的応答、運)に分類し、それらをクラスタ分析し、4つのクラスタ(戦略群)(残余群、有能さ戦略群、積極さ戦略群、誠実さ戦略群)に同定した。しかし、先行研究では特定の大学に所属する学生の就職活動に関する報告記述を調査対象としており、普遍性に欠ける。

そこで、本研究では数校の就職活動を終えた四年生を対象インタビュー調査を行い就職活動における戦略的自己呈示の違いを明らかにする。

2. 研究方法

【調査対象】

就職活動を終えた大学四年生

(n = 15)

【調査方法】

〈質問用紙調査〉

フェイスシート

(氏名、性別、大学学部名、専攻分野、現在行っているスポーツ競技名・頻度、エントリー社数、内定社数、就職先の業種と名称、就職活動満足度)

〈インタビュー調査〉

1対1の半構造化インタビュー

〈分析方法〉

KJ法におけるグループ編成

3. 主な結果と考察

KJ 法によるグループ編成を行った結果、①面接経験、②自尊心、③自発的行動、④事前準備、⑤印象操作、⑥意欲、⑦積極的応答、⑧自己説明、⑨運の9つに分類された。

それらの9つの考え方は、大きく分けて3つに分類できる。まず一つ目は、「準備、経験等面接時以外での就職活動への取り組みが重要」と考えるグループである。二つ目は、「面接時の相手との関係間での言動が重要」と考えるグループである。そして三つ目は、「就職活動や面接は運や相性が重要」と考えるグループである。9つのカテゴリー

で実際に面接場面での戦略行動として限定できるのは、意欲、自己説明、積極的応答、印象操作の4種類である。面接経験は、面接は、数を重ねないと良い結果は導くことはできないという面接の結果に対する考え方で、自発的行動、事前準備、自尊心は主として採用側との接触する過程を述べたものである。また、運は結果の受け止め方を述べたものである。しかし、先行研究でも書かれているように、これから9つのうち行動を指示するカテゴリーが単独1つの戦略を構成しているとは考えにくい。なぜなら、複数のカテゴリーに該当する事例が多く存在するからである。

4. 結論

本研究の結論は以下の3点である。

- 1, 就職活動における自己呈示戦略の考え方は①面接経験、②自尊心、③自発的行動、④事前準備、⑤印象操作、⑥意欲、⑦積極的応答、⑧自己説明の8つが存在する。
- 2, ①面接経験、②自尊心、③自発的行動、④事前準備、⑤印象操作、⑥意欲、⑦積極的応答、⑧自己説明の内、面接時の自己呈示戦略として考えられるのは、⑤印象操作、⑥意欲、⑧自己説明、⑦積極的応答である。
- 3, 8つの考え方のいずれかが就職活動における自己呈示戦略として成り立っているのではなく複数の考え方が影響している。

5. 卒業論文の執筆を終えて

はじめに、本論文の執筆にあたり、お忙しい中知識不足の私に多くのご指導を頂きました水野基樹先生に心から感謝申し上げます。また、卒業論文だけでなく、2年以上のゼミナールでの活動を通して、他のゼミナール、組織では学ぶことのできない数多くのことを水野ゼミで学ぶことができました。知識の面でなく、人間的な面でも大きく成長させて頂きました。そして、テーマ決定から調査、分析方法、論文の書き方まで丁寧にご指導いただきました、院生の皆様本当にありがとうございました。また、卒業論文の執筆に加え、共にゼミナールで学び、悩み、ぶつかり合った同期である15期生の皆さんにも感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。そしてこれからもずっとよろしくお願ひします。最後に、私をここまで育ててくれ、最後の最後まで私のやりたいことをやらせてくれたお父さん、お母さん、そして就職活動の際様々な相談になってくれた二人の兄に本当に感謝したいと思います。本当にありがとうございます。